

# アンケート調査結果報告書

## アンケート調査概要

項目	詳細
調査目的	「あの夏、秘密のコンフィチュール」に関する感想レビューアンケート調査
調査対象	本作を読んだことのある20代～40代の男女13名
調査期間	2025年9月～2026年1月
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドソーシング
出典元	<a href="https://fkikaku.co.jp/book/anonatuhibituno/">https://fkikaku.co.jp/book/anonatuhibituno/</a>

## 読者感想レビュー詳細

No.	属性	感想内容
1	30代男性	姪とその友人が一人の男を奪い合う駆け引きが、単なる官能を超えて「文学」の域に達していました。ギリシャ神話のモチーフや、夏の終わりを感ぜさせる仄暗いトッピングが絶妙で、今年一番の傑作だと断言できます。
2	30代女性	90ページを超える大ボリュームの大部分が濃密な描写に割かれており、満足度が非常に高いです。清楚な金髪お嬢様かと思いきや、実は狡猾で主導権を握るヒロインの二面性に、いい意味で予想を裏切られました。
3	40代女性	単なる官能描写ではなく、深い心理的な葛藤が描かれています。叔姪という禁忌の関係に揺れる翠羽の「一瞬でもいいから振り向いて」という切実な願いが、花火の光の中で散っていくラストには静かな痛みを感じました。
4	20代男性	ヒロイン二人の体格や性格の違いが明確で、一冊で二度美味しい作品

		でした。うだるような夏の暑さと、インモラルな執着が混ざり合う独特の空気感。情景描写の丁寧さが、没入感をさらに高めてくれます。
5	20代女性	背景や心理的な導入が極めて丁寧で、インスタントな消費を目的とした作品とは一線を画しています。田舎の夏の爽やかさと、その背後に潜む歪んだ家族関係や秘密の対比が、物語に深い奥行きを与えていました。
6	30代男性	昭和の官能文学を彷彿とさせる、退廃的で牧歌的な世界観に飲み込まれました。大学を中退した主人公の鬱屈とした視線が、性を意識し始めた少女たちの純真さと残酷さを際立たせ、読後に心地よい余韻を残します。
7	40代男性	主人公の設定がしっかりしており、彼が少女たちに求められる理由に納得感があります。当人たちの行動や性愛に至る理由に「本当の人間」の体温を感じる、作家性の結晶のような素晴らしいマスターピースでした。
8	30代女性	時系列をシャッフルした構成が見事です。読み進めるほどに「あの時の行動はこういう意味だったのか」と秘密が明かされる驚きの連続。女の子たちがとにかく可愛く、その裏にある仄暗さすら愛おしくなりました。
9	20代男性	金髪少女へのフェラ指導や、姪との背徳的な関係など、シチュエーションが多彩で興奮しました。それぞれのヒロインの心理描写が細やかで、単なる性的刺激だけでなく、感情の揺れ動きがエロさをより引き立てています。
10	30代男性	秘密を抱えたまま繰り返される情事には、泡沫の夢のような儚さがありました。断片的な情報の提示の仕方が文学的で、従来の同人作品にはない「読ませる力」と「抜けるエロス」が完璧に共存しています。
11	20代女性	00年代の傑作ノベルゲームをプレイした後のような、とてつもない満足感。構成が練り込まれており、二度目に読み返した際には登場人物の心の機微が全く違って見えるという、二度美味しい体験ができました。
12	40代男性	貧乳・微乳のヒロインに対する作者様の並々ならぬこだわりを感じました。ボリュームもさることながら、時間軸の移動が読者の期待を煽り、最後まで飽きさせない。絵柄の魅力と構成力の勝利だと思います。
13	30代男性	「秘密はお菓子のようで甘くて誘惑的なもの」という言葉が象徴するように、甘美で残酷な夏の思い出が描かれています。エロティックでありながら、どこか救いのない悲恋のような読後感が癖になる、稀有な作品です。